



マニュアルの使いかた

『安心してお使いいただくために』

- パソコンをお取り扱いになるときに守っていただきたいこと

ご使用前に必ずお読みください。

『取扱説明書』（本書）

- Windows のセットアップ
- 基本機能
- 周辺機器の接続
- 省電力機能
- 困ったときの Q & A
- 再セットアップ

🔍 パソコン画面上で見るときは

⇒ 「2章 4 オンラインマニュアルの起動」

リリース情報

- 本製品を使用するうえでの注意事項など

必ずお読みください。

本製品の電源を入れた状態で、[スタート] メニュー - [はじめに] - [リリース情報] をクリックするとご覧になります。



目次

マニュアルの使いかた	1
目次	2
はじめに	6
本書の読みかた	10
日常の取り扱い	13

1 章 電源を入れる前に..... 19

1 各部の名称	20
2 周辺機器の接続場所	23
3 パソコンの準備	25
1 電源に接続する	25
2 ディスプレイを開ける	26
3 電源に関する表示	27
4 バッテリーの充電	28
1 バッテリー駆動で使うために	28
2 バッテリーの充電	28
3 バッテリーに関する表示	30
5 アクュポイントIIとコントロールボタンの使いかた ...	31
6 キーボード	32
7 サウンド	41
1 スピーカの音量を調整する	41
2 システムスピーカについて	43

2章 電源を入れて切るまで 45

- 1 電源を入れる 46
- 2 初めて電源を入れるとき 48
 - 1 Windows 98のセットアップ 49
 - 2 Windows 2000のセットアップ 56
 - 3 ユーザ登録をする 64
- 3 電源を切る 66
 - 1 Windows 98の場合 68
 - 2 Windows 2000の場合 73
- 4 オンラインマニュアルの起動 77

3章 パソコンを持ち歩く 79

- 1 バッテリーを使う 80
 - 1 バッテリー充電量を確認する 80
 - 2 時計用バッテリー 81
 - 3 バッテリーの使用時間 82
 - 4 バッテリーパックを交換する 84
- 2 大容量バッテリーを使う 86
 - 1 大容量バッテリーパックの取り付け／取りはずし 87
 - 2 パソコン本体への取り付け／取りはずし 88
- 3 バッテリーを節約する 91

1
章

2
章

3
章

4
章

5
章

6
章

7
章

付
録

4章 ハードウェアについて 93

- 1** 周辺機器の取り付けについて 94
- 2** 機能を拡張する 95
- 3** PCカードを使う 100
- 4** フロッピーディスクを使う 104
 - 1 フロッピーディスク 104
 - 2 フロッピーディスクドライブ 105
- 5** LANに接続する 107
 - 1 LANケーブルの接続 107
 - 2 Windows 98のネットワーク設定 108
 - 3 Windows 2000のネットワーク設定 112
- 6** USB機器を接続する 114
- 7** CRTディスプレイを接続する 115
 - 1 取り付け／取りはずし 115
 - 2 表示方法の切り替え 115
- 8** メモリを増設する 117

5章 便利な機能 121

- 1** 消費電力を節約する 122
- 2** 東芝HWセットアップ 128
- 3** スーパーバイザパスワード 135

6章 再セットアップ..... 139

- 1 再セットアップとは 140
- 2 カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは 141
 - 1 カスタム・リカバリ CD とは (Windows 98) 141
 - 2 リカバリ CD とは (Windows 2000) 141
- 3 標準システムを復元する 142
 - 1 準備 142
 - 2 操作手順 142
- 4 最小構成でシステムを復元する (Windows 98) ... 147
 - 1 準備 147
 - 2 操作手順 148
- 5 標準システムインストール起動ディスクを使う ... 150
 - 1 Windows 98 の場合 150
 - 2 Windows 2000 の場合 152
- 6 アプリケーションを再インストールする (Windows 98).. 154
 - 1 操作手順 154

7章 困ったときは 155

- 1 困ったときは 156
 - 1 Q&A を見る前に 156
 - 2 Q&A 集 157

付録 191

- 1 製品仕様 192
- 2 各インタフェースの仕様 199
- 3 アプリケーションのお問い合わせ先 201
- 廃棄について 202
- さくいん 204



はじめに

このたびは、^{ダイナブック} ^{エスエス} DynaBook SS をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は小型・軽量で Windows が動作するノートパソコンです。

本書は本製品の基本的な取り扱いかたをできるだけ簡単に、正しく理解できるように作られています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。本書の PDF ファイルはパソコンにインストールされていますので、Windows を起動しているときに画面上でご覧になることもできます。

🔍 オンラインマニュアル ⇨ 「2 章 4 オンラインマニュアルの起動」

また、『リリース情報』には、本製品を使用するにあたっての注意事項などが記述されていますので、必ずお読みください。

🔍 リリース情報 ⇨ 「マニュアルの使いかた リリース情報」

● 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータ業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

● 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

● 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



省電力設定については、「5 章 1 消費電力を節約する」をご覧ください。

FCC notice

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment.

This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications.

Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

WARNING: *Changes or modification made to this equipment, not expressly approved by Toshiba, or parties authorized by Toshiba, could void the user's authority to operate the equipment.*

TOSHIBA



EU Declaration of Conformity
EU Übereinstimmungserklärung
Déclaration de conformité UE
Declaración de conformidad de la UE
Dichiarazione di conformità UE
EU Försäkran om överensstämmelse

Toshiba declares, that the product: PP347N conforms to the following Standards:
Toshiba erklärt, daß das Produkt: PP347N folgenden Normen entspricht:
Toshiba déclarent que le produit cité ci-dessous: PP347N est conforme aux normes suivantes:
Toshiba declaran que el producto: PP347N cumple los siguientes estándares:
Toshiba dichiara, che il prodotto: PP347N é conforme alle seguenti norme:
Toshiba intygar att produkten: PP347N överensstämmer med följande normer:

Supplementary Information: “The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC.”

Weitere Informationen: “Das Produkt entspricht den Anforderungen der Niederspannungs-Richtlinie 73/23/EG und der EMC-Richtlinie 89/336/EG.”

Informations complémentaires: “Ce produit est conforme aux exigences de la directive sur les basses tensions 73/23/CEE et de la directive EMC 89/336/CEE.”

Información complementaria: “El Producto cumple los requisitos de baja tensión de la Directiva 73/23/CEE y la Directiva EMC 89/336/CEE.”

Ulteriori informazioni: “Il prodotto é conforme ai requisiti della direttiva sulla bassa tensione 73/23/EG e la direttiva EMC 89/336/EG.”

Ytterligare information: “Produkten uppfyller kraven enligt lägspanningsdirektivet 73/23/EEC och EMC-direktiv 89/336/EEC.”

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is Toshiba Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

Notice to user of EN55022

Warning

This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

● Trademarks

- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Intel は Intel Corporation の登録商標です。
- ・ Ethernet、Fast Ethernet は富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。
- ・ PS/2 は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ・ Sound Blaster は、米国 Creative Technology 社の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

● お願い

- ・ 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ・ 内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）は、本製品のみご利用いただけます。
- ・ 購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・ パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。

パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイアル（巻末参照）までご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要な事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。



本書の読みかた

本書は、次のきまりに従って書かれています。

● 記号の意味



警告

・ 誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷^{じゅうしょう}を負う可能性があることを示します。



注意

・ 誤った取り扱いをすると、人が傷害^{しょうがい}*1を負う可能性、または物的損害*2のみが発生する可能性があることを示します。



お願い

・ データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



メモ

・ 知っておくと便利なことを説明しています。

本書は、Windows 98、Windows 2000 モデルに共通の取扱説明書です。それぞれの固有の操作や機能名称を示すときは次のマークを使用しています。ご購入の製品に応じた部分をお読みください。



98 Windows 98 の場合の固有の操作や機能名称などを示します。



2000 Windows 2000 の場合の固有の操作や機能名称などを示します。

 この取扱説明書や他の説明書への参照先を示しています。

「この取扱説明書の参照先」

『他の説明書への参照先』

(注) 補足説明をしています。

※1： 障害^{しょうがい}とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※2： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害をさします。

● 画面の表しかた

画面の全部、または一部を表します。

【例】

Total = XXXX KB

—このように画面上または本文中の文字をXで表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

● 入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを□で囲んで書いています。

-  キーを押す →  を押してください。
-  キーを押す →  を押してください。
-  キーを押す →  (スペースキー) を押してください。

● 操作の表しかた

操作や作業は、次のように示します。

【例】

- 操作が1つで済む場合は、次のように示します。

 キーを押す

- キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

 +  キーを押す

この場合は、 キーを押したまま  キーを押します。

● 用語について

本書では、次の用語について定義します。

システム

特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows 98

Microsoft® Windows®98 SECOND EDITION operating system
日本語版を示します。

Windows 2000

Microsoft® Windows®2000 Professional operating system
日本語版を示します。

MS-IME

Microsoft® IME 2000 または Microsoft® IME 98 を示します。

● 記載について

本書に記載している画面は、表示例です。実際に表示される画面と異なる場合があります。



日常の取り扱い

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

● パソコン本体



警告

・水などの液体がかかったり、直射日光の当たる場所に置かないでください。ショート、発煙のおそれがあります。



注意

・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをAC電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。

・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

・水や中性洗剤は、絶対に本製品に直接かけないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。

・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。

・持ち運ぶときは、必ず電源を切り、電源スイッチロックを有効（右側）にしておいてください。誤って電源スイッチに力が加わり、電源が入る可能性があります。かばんの中など、本製品の発する熱がこもりやすい場所では、内部の温度が上がり、火災、故障のおそれがあります。

・ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないでください。パソコンが落ちたり、倒れたりしてケガをするおそれがあります。

●機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を強くしぼってから拭きます。

シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

●ディスプレイは静かに閉じてください。

●使用できる環境は次のとおりです。

温度 5～35℃、湿度 20～80%

●次のような場所で使用や保管をしないでください。

直射日光の当たる場所

非常に高温または低温になる場所

急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）

強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）

ホコリの多い場所

振動の激しい場所

薬品の充満している場所

薬品に触れる場所

● 持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

- 電源は必ず切ってください。

電源を切った後でも、Disk (LED) が点灯中は動かさないでください。

- 電源スイッチロックを有効（右側）にしておいてください。

電源スイッチロックを解除して持ち運んだ場合、誤って電源スイッチに力が加わり、電源が入る可能性があります。この場合、バッテリー駆動になりますので、使用するときにはバッテリーが消耗している原因になります。

- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。
- パソコン本体に周辺機器を接続している場合は、取りはずしてください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。故障の原因になります。

● 電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡って AC コンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にはこりを拭き取ってください。

● キーボード

乾いた柔らかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、強くしぼって拭きます。キーのすきまに入ったゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

飲み物など液体をこぼしたときは、電源を切り、AC アダプタとバッテリーパックを取りはずしてからお買い求めの販売店、または保守サービスに連絡し、点検を依頼してください。

● 液晶ディスプレイ

● 画面の手入れ

- 画面の表面には偏光フィルムが貼られています。このフィルムはキズつきやすいので、むやみに触れないでください。

表面が汚れた場合は、柔らかい素材のきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。
液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。
そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

● サイドライト用FL管について

ディスプレイに装着されているサイドライト用FL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。

● 表示不良画素について

カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け、常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。

● アクュポイントⅡ（ポインティング装置）

ポインタを動かすポインティング装置をアクュポイントⅡといいます。アクュポイントⅡは、ハンドクリームや油などのついた手で操作したり、油性の液体をつけたりしないでください。操作時にすべりやすくなったり、アクュポイントキャップが劣化する（溶ける）おそれがあります。アクュポイントキャップがすりきれたら取り換えてください。

携帯電話、無線機など電波を発生する機器が近くにあるときにポインタが移動する場合があります。その場合は、電波を発生する機器を離してください。

また、次の場合、画面上のポインタが移動することがあります。この場合は、ポインタが動かなくなるのを待ってから、アクュポイントⅡを使用してください。

- ・電源を入れたとき
- ・一定の力で一定の方向にポインタを移動し続け、指を離れたとき
- ・温度が急激に変化したとき

● 消耗品について

次の部品は消耗品です。

- バッテリーパック（充電式リチウムイオン電池）
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。
充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパックと交換してください。
- 時計用バッテリー（交換は有償です）
- アクュポイントキャップ（交換は同梱されているものを使用してください）
消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

● コンパクトディスク（CD）

CDの内容は故障の原因にかかわらず保証いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CDを読み込むことができなくなります。
- CDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CDの上に重いものを置かないでください。
- CDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CDの表面に文字などを書かないでください。
- CDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。もし乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。

ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

● フロッピーディスクドライブ（別売り）

市販のクリーニング用品を使って、1ヶ月に1回を目安にフロッピーディスクドライブをクリーニングしてください。

● フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。キズがついた場合は交換してください。
フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。

フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。
汚れると使用できなくなります。
- スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。
- 直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
- 本やノートなど重いものを上に置かないでください。
- 使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環境	使用時	保管時
温度	5~35℃	4~53℃

- ラベルは正しい位置に貼ってください。
貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。
- ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
- 保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
- 食べ物、タバコ、消しゴムのカスの近くにフロッピーディスクを置かないでください。
- 3.5型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。
他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスクドライブの寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

● データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。
本製品は次のような場合、スタンバイまたは休止状態が無効となり、本体
内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- ・ 誤った使いかたをしたとき
- ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- ・ 長時間使っていなかったために、バッテリー（バッテリーパック、時計用
バッテリー）の充電量がなくなったとき
- ・ 故障、修理、バッテリー交換のとき
- ・ 電源を切った直後にすぐ電源を入れたとき
- ・ バッテリー駆動で使用しているときにバッテリーパックを取りはずしたとき
- ・ 増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失など、ハードディスクやフロッピーディスクに保存
した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あ
らかじめご承知ください。

1

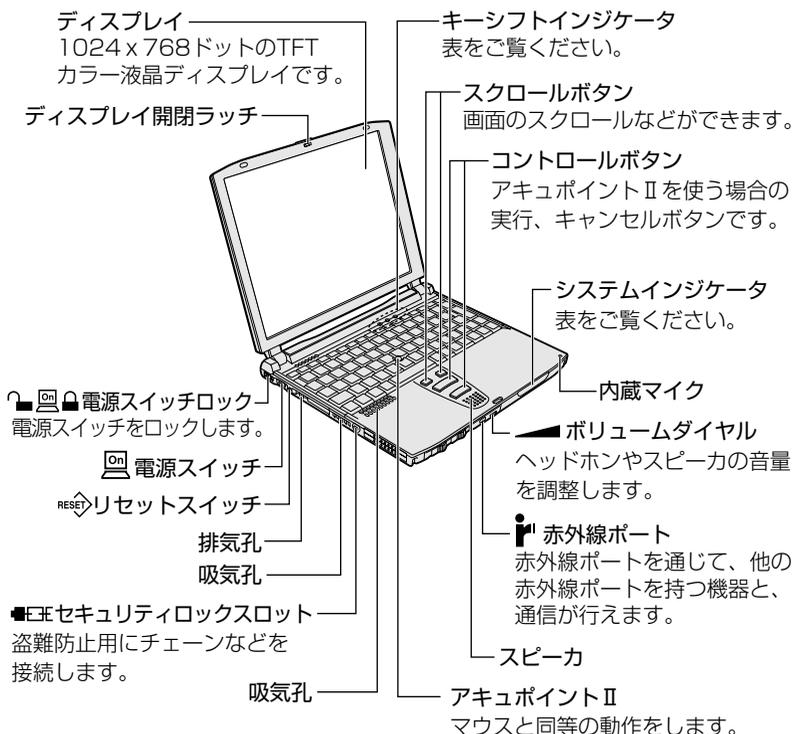
電源を入れる前に

本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備について説明します。

1	各部の名称	20
2	周辺機器の接続場所	23
3	パソコンの準備	25
4	バッテリーの充電	28
5	アキュポイントIIと コントロールボタンの使いかた	31
6	キーボード	32
7	サウンド	41

1 各部の名称

ここでは、各部の名称と機能を簡単に説明します。
各部についての詳しい説明は、それぞれに関連する章で行います。



システムインジケータ		DC IN LED	電源コードの接続 ☞「本章 3-3 電源に関する表示」
		Power LED	電源の状態 ☞「本章 3-3 電源に関する表示」
		Main Battery LED	バッテリーの状態 ☞「本章 4-3 バッテリーに関する表示」
		大容量バッテリー LED	大容量バッテリー (別売り) の状態 ☞「本章 4-3 バッテリーに関する表示」
		Disk LED	ハードディスクドライブにアクセスしている
キーシフトインジケータ		Caps Lock LED	文字入力の「大文字ロック状態」 ☞「本章 6-入力に関する制御キー」
		Arrow Mode LED	文字入力の「アロー状態」 ☞「本章 6- [Fn] キーを使った特殊機能キー」
		Numeric Mode LED	文字入力の「数字ロック状態」 ☞「本章 6- [Fn] キーを使った特殊機能キー」

 **マイク入力端子**
マイクロホンを接続
します。

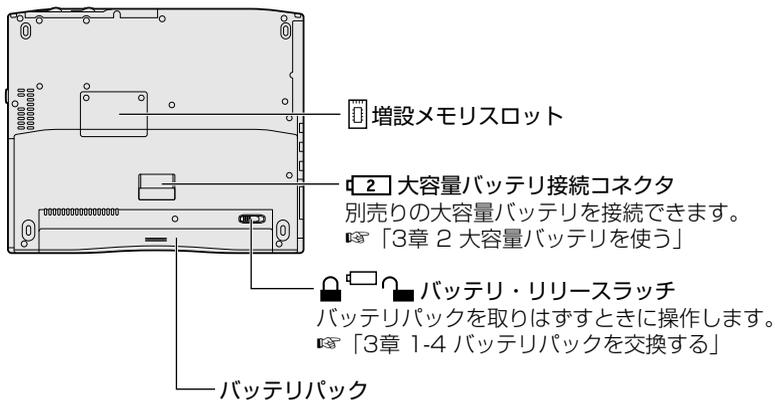
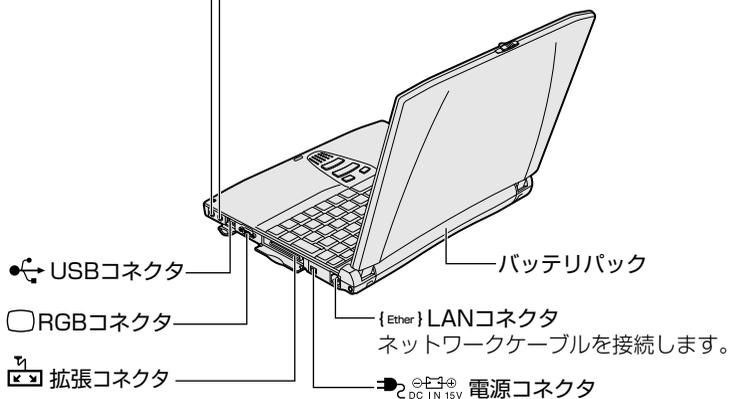
 **ヘッドホン出力端子**
ヘッドホンを接続します。音源はステレオで出力されます。
ヘッドホンはステレオミニジャックタイプ（3.5φ）を使用してください。

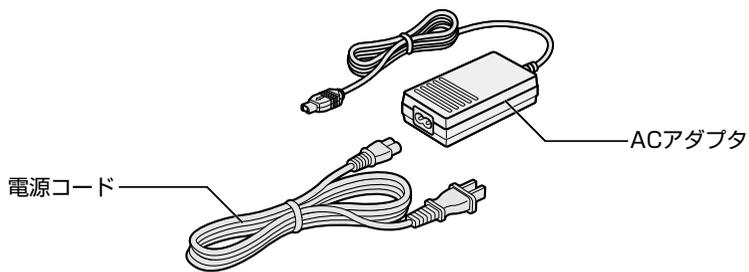


おそれない

・ 次のような場合にはヘッドホンを耳からはずしてください。雑音が発生する場合があります。

- ・ パソコン本体の電源を入れるとき
- ・ パソコン本体の電源を切るとき
- ・ ヘッドホンを取り付ける／取りはずすとき

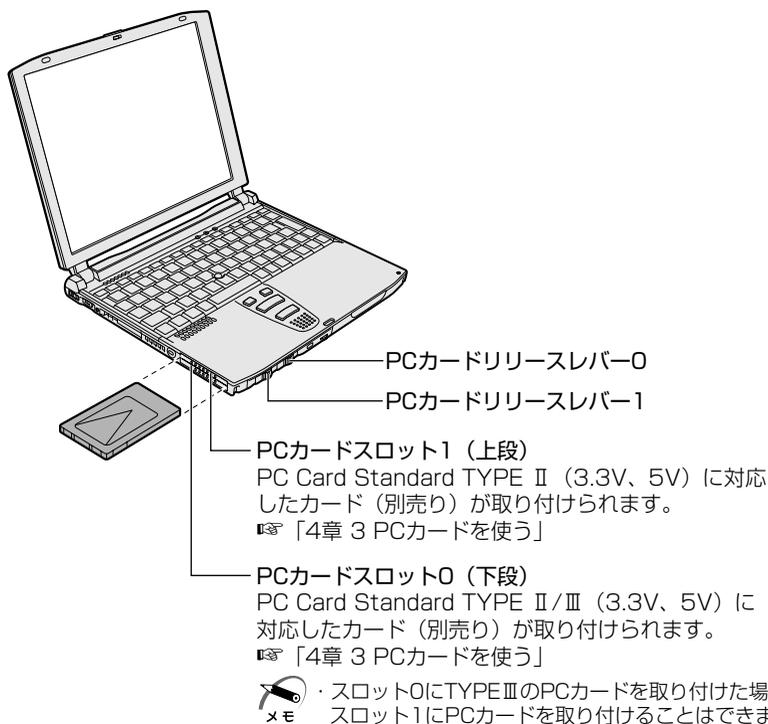




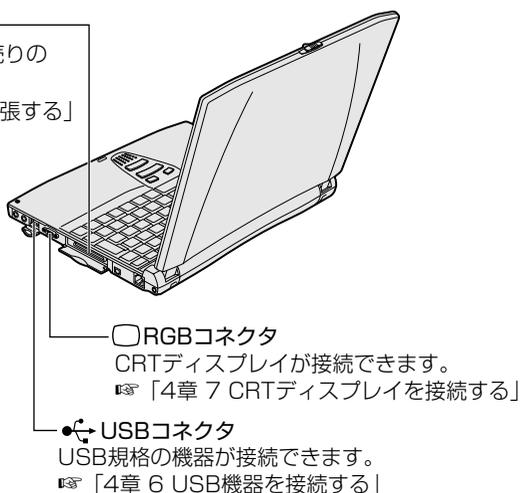
2 周辺機器の接続場所

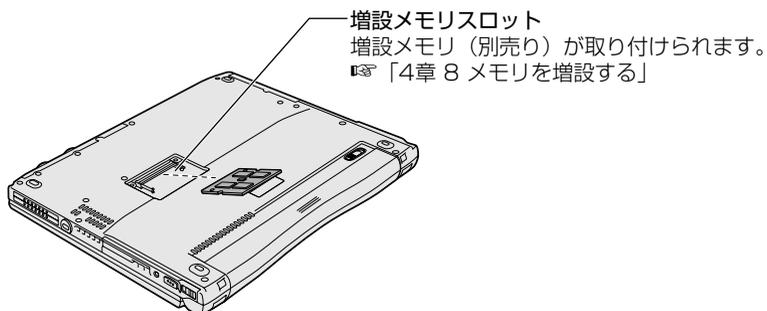
1 章

電源を入れる前に

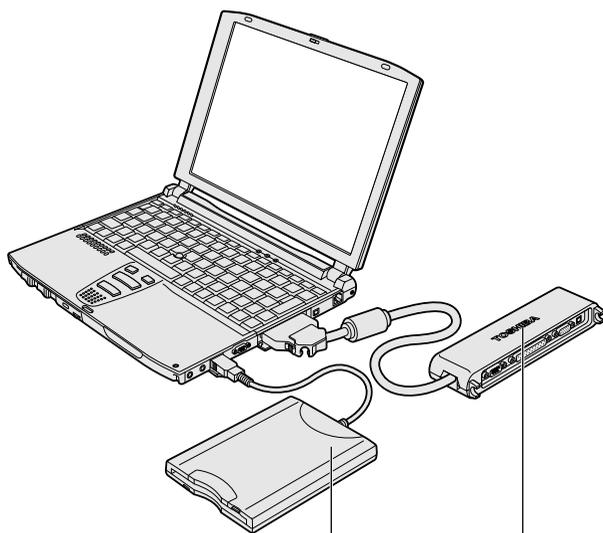


 拡張コネクタ
I/Oアダプタなど別売りの機器を接続します。
☞ 「4章 2 機能を拡張する」





増設メモリスロット
増設メモリ（別売り）が取り付けられます。
☞ 「4章 8 メモリを増設する」



USBフロッピーディスクドライブ（別売り）
☞ 「4章 4 フロッピーディスクを使う」

I/Oアダプタ（別売り）
拡張コネクタには別売りの機器（I/Oアダプタ、
ミニI/Oアダプタ、マルチメディアポートリプ
リケータのいずれか）を取り付けることができます。
☞ 「4章 2 機能を拡張する」

3 パソコンの準備

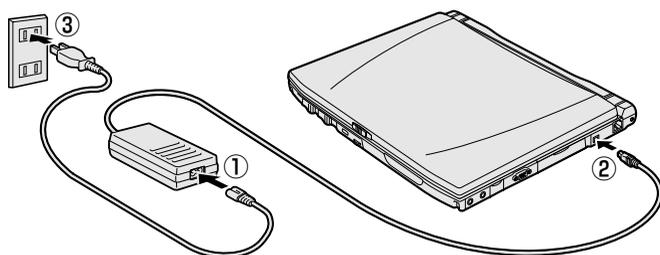
ここでは、電源を入れる前に必要な準備について説明します。

1 電源に接続する

● 接続方法

パソコン本体に電源を供給するときは、バッテリーパックを必ず取り付けておいてください。

接続は次の図の①→②→③の順に行います。②のとき、ACアダプタのプラグの矢印(⇨)を下にして接続してください。はずすときは逆の③→②→①の順で行います。



● 取り扱い方法

電源コード、ACアダプタの取り扱いについては次のことを守ってください。



警告

- ・必ず本体付属のACアダプタを使用してください。本体付属以外のACアダプタをご使用になりますと、電圧や+-の極性が異なっていることがあるため、発煙、火災のおそれがあります。
- ・付属の電源コードでは、AC100V以外の電源コンセントには絶対に電源プラグを差し込まないでください。発煙、火災のおそれがあります。
- ・傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使わないでください。感電、火災、やけどのおそれがあります。
- ・電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを載せたりしないでください。ショート、断線による火災や感電のおそれがあります。



注意

- ・電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。
- ・ぬれた手で、電源コードのプラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



お願い

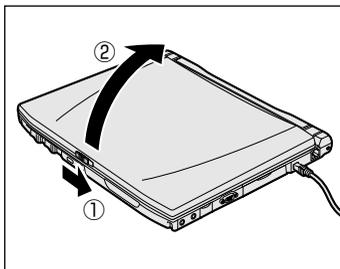
- ・ACアダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントに接続しないでください。

ACアダプタを接続していると、ACアダプタやバッテリーが温くなることがあります。故障ではありません。

② ディスプレイを開ける

1 ディスプレイ開閉ラッチをスライドし①、ディスプレイを静かに起こす②

このとき、両手を使ってゆっくり起こしてください。



注意

- ・ディスプレイを閉じる場合は静かに閉じてください。
ディスプレイを強く閉じると、衝撃でハードディスクドライブなどが故障するおそれがあります。
ハードディスクの磁性面にキズが付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いたキズの修理はできません。

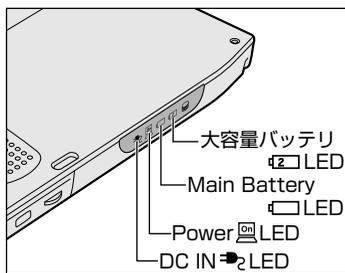
3 電源に関する表示

電源に接続すると、DC IN  LED、Main Battery  LED が点灯します。

大容量バッテリー（別売り）を取り付けている場合は、大容量バッテリー  LED も点灯します。

☞ Main Battery  LED、大容量バッテリー  LED について
 ⇨ 「本章 4-3 バッテリーに関する表示」

電源を入れると Power  LED が点灯します。



それぞれのインジケータの色は次のことを表しています。

	LEDの状態	パソコン本体の状態
DC IN  LED	緑	ACアダプタから電力が供給されている
	オレンジ点滅	異常警告 バッテリー、ACアダプタ またはパソコン本体に異常
	消灯	ACアダプタから電力が供給されていない
Power  LED	緑	電源ON
	オレンジ点滅 (ゆっくり)	スタンバイ中
	消灯	電源OFF

4 バッテリーの充電

1 バッテリー駆動で使うために

パソコン本体には、バッテリーパックが内蔵されています。

バッテリーを充電して、バッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。

バッテリー駆動で使う場合は、ACアダプタを接続してバッテリーの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリーパックを取り付けます。

充電を完了（フル充電）しなくてもバッテリー駆動で使えますが、使用できる時間は短くなります。

2 バッテリーの充電

ここでは、充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

● 充電方法

1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ

DC IN  LED が緑色に点灯して Main Battery  LED、大容量バッテリー  LED（大容量バッテリーを取り付けている場合）がオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

パソコン本体に AC アダプタを接続すると、電源の ON/OFF に関わらず充電されます。

2 Main Battery LED が緑色になるまで通電する

バッテリーが充電中は Main Battery  LED がオレンジ色に点灯します。

DC IN  LED が消灯している場合は、電源が供給されていません。AC アダプタ、電源コードの接続を確認してください。

 Main Battery  LED について ⇨ 「本節 3 バッテリーに関する表示」



メモ

- ・標準バッテリーパックと大容量バッテリーの両方を接続しているときは、標準バッテリーパックから充電が開始されます。
- ・長時間パソコンを使用しないときは、必ず電源コンセントから電源コードを抜いてください。再び使用するときは、バッテリーパックを充電してからお使いください。

● 充電時間

充電時間の目安は次のとおりです。

取り付けているバッテリー	電源ON	電源OFF
標準バッテリーパック	約 2～4 時間	約 2 時間
標準バッテリーパックと大容量バッテリーの両方	約 6～16 時間	約 6 時間

(注) 周囲の温度が低いときや周辺機器を取り付けているときなど、パソコンの使用状況によってはこの時間よりも長くなる場合があります。



警告

- ・バッテリーパックの使用中、充電中、保管時に異臭・発熱・変色・変形など異常が発生した場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。



注意

- ・バッテリーパックの充電温度範囲内（10～30℃）で充電してください。
充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。
- ・バッテリーパックを水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
発熱したり、サビなどのおそれがあります。
- ・バッテリーパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常と思われるときは使用しないでください。
お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。

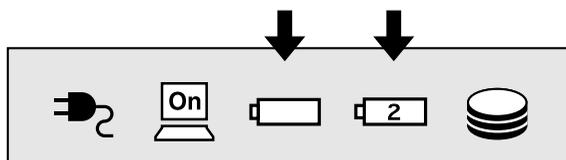
3 バッテリーに関する表示

● Main Battery LED で確認する

次のシステムインジケータの図で矢印の付いているものが、バッテリーの状態を示すアイコンです。

なお、大容量バッテリーは別売りです。

☞ 大容量バッテリーについて ☞ 「3章 2 大容量バッテリーを使う」



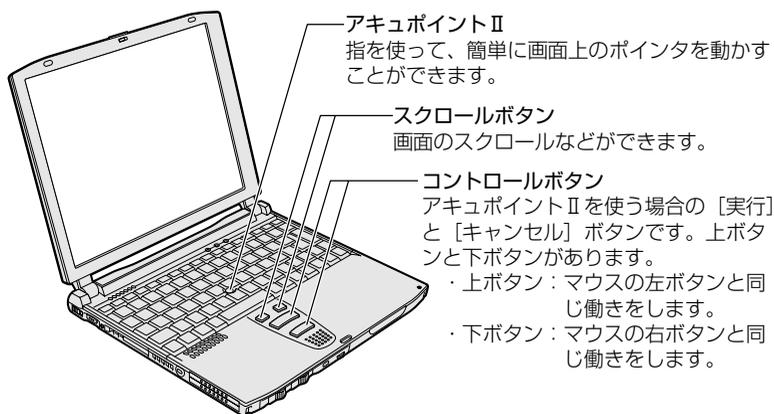
それぞれのインジケータの色は次の状態を示しています。

	LEDの状態		パソコン本体の状態
Main Battery  LED	緑		充電完了 (ACアダプタ接続時)
	オレンジ	点灯	充電中
		点滅	充電必要
	消灯		バッテリーパックが取り付けられていない ACアダプタが接続されていない バッテリーパックに異常
大容量バッテリー  LED (大容量バッテリー接続時)	緑		充電完了 (ACアダプタ接続時)
	オレンジ	点灯	充電中
		点滅	充電必要
	消灯		大容量バッテリーが取り付けられていない ACアダプタが接続されていない 大容量バッテリーに異常 充電していない

☞ バッテリーの詳細について ☞ 「3章 パソコンを持ち歩く」

5 アクティブポイントIIとコントロールボタンの使いかた

本製品には、マウスと同じ働きをするアクティブポイントIIと2つのコントロールボタンとスクロールボタンが装備されています。



● 基本操作

キーボード中央の、アクティブポイントIIに指を置きます。アクティブポイントIIを押さえながら上下左右に動かすと、ポインタが移動します。

クリック	アクティブポイントIIでポインタを合わせて、上ボタンまたは下ボタンを1回押します。
ダブルクリック	アクティブポイントIIでポインタを合わせて、上ボタンまたは下ボタンを、すばやく2回続けて押します。
ドラッグアンドドロップ	上ボタンまたは下ボタンを押したまま、アクティブポイントIIでポインタを移動します（ドラッグ）。ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します（ドロップ）。
スクロール	画面を上下に動かす動作のことをいいます。スクロールボタンを押すと、画面がスクロールします。

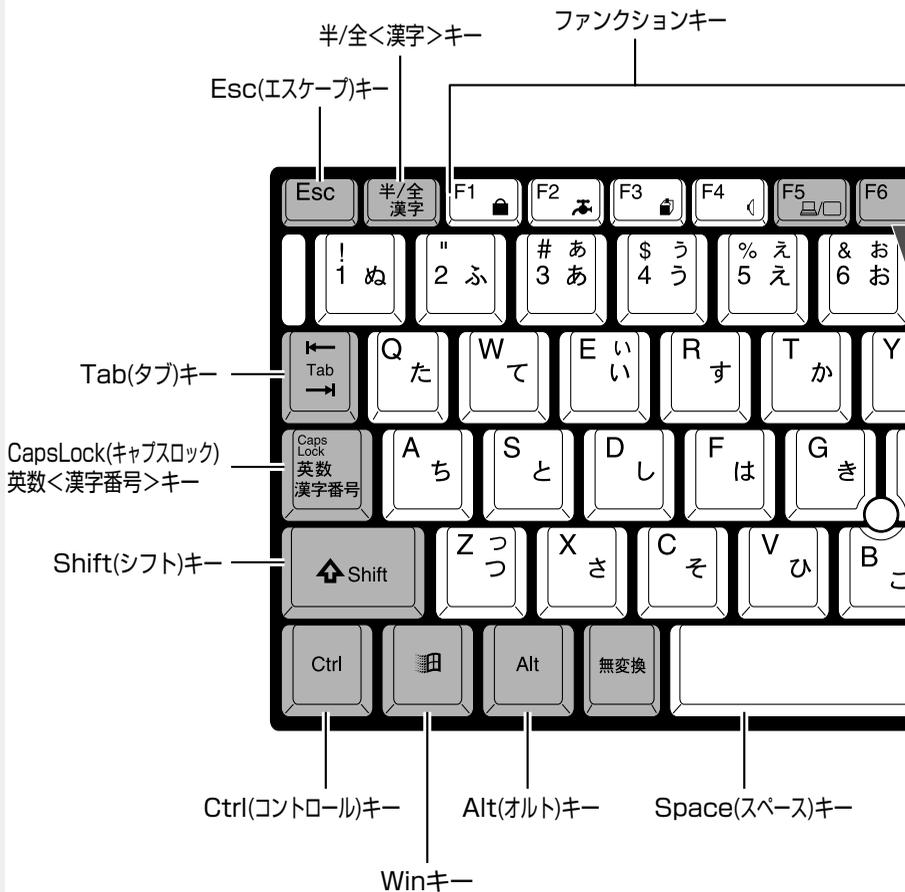


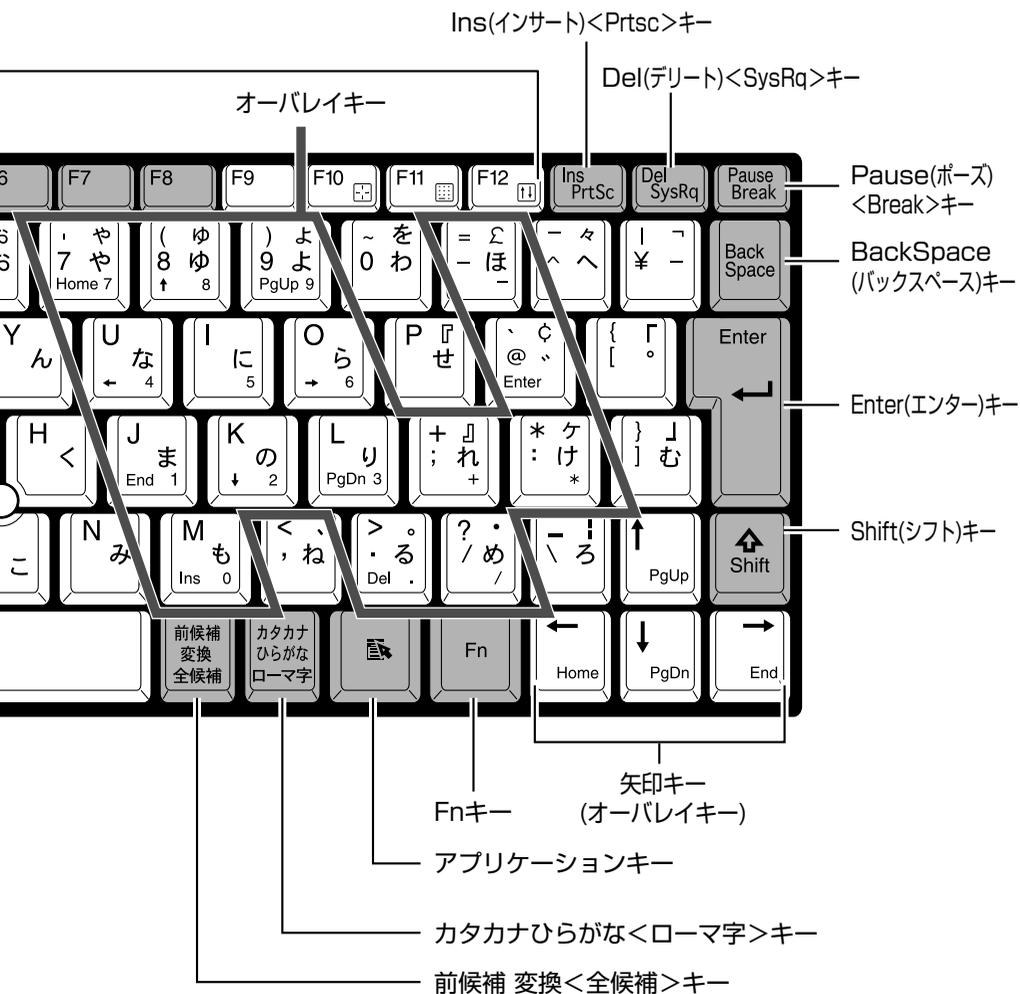
お願い

- ・ 次の場合、アクティブポイントIIを操作していなくても、画面上のポインタが移動することがあります。
 - ・ 電源を入れたとき
 - ・ 一定の力で一定の方向にポインタを移動し続け、指を離れたときこの場合は、10秒以上待つてから、アクティブポイントIIを使用してください。

6 キーボード

キーボードの使いかたはソフトウェアによって違ってきますが、ここでは基本的な使いかたと、それぞれのキーの意味や呼びかたについて簡単に説明します。





● 文字キー

文字や記号を入力するときに使うキーを「文字キー」と呼びます。文字キーには2～6種類の文字・記号が印刷されていますが、どの文字・記号が入力されるかは制御キーとの組み合わせなどで異なります。文字キーに印刷された文字・記号を入力する場合、どのように操作したらいいか、次の文字キーを例に説明します。



入力したい文字・記号	入力操作	内容
左上の文字・記号	[Shift]キーを押しながら押す	記号やアルファベットの大文字（この場合は「`」）が入力できます。 ☞「本節-主なキーの呼びかたと役割」
右上の文字・記号	カナロック状態で[Shift]キーを押しながら押す	記号やカタカナの促音、拗音（この場合は「` `」）が入力できます。 ☞「本節-入力に関する制御キー」
左中の文字・記号	そのまま押す	数字やアルファベットの小さい文字（この場合は「7」）が入力できます。
右中の文字・記号	カナロック状態で押す	カタカナや記号（この場合は「ヤ」）が入力できます。 ☞「本節-入力に関する制御キー」
左下の文字・記号	アロー状態のときに押す	カーソル制御キー（この場合は[Home]キー）として使えます。 ☞「本節-[Fn]キーを使った特殊機能キー」
右下の文字・記号	数字ロック状態のときに押す	テンキー（この場合は「7」）として使えます。 ☞「本節-[Fn]キーを使った特殊機能キー」



- ・ ` (チルダ) を入力する場合は、[Shift]キー + [` `] キーを入力してください。[Shift]キー + [` `] キーを押しても入力できません。
- ・ \ (バックスラッシュ) を入力すると、「¥」が表示されますが、同じ機能を持ちます。
- ・ キーボードに印刷されている「£」「¢」「々」などの文字は直接入力できません。お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。

● 主なキーの呼びかたと役割

キー	内容
 (エスケープ)	操作を取り消すときに使います。
 (シフト)	アルファベットの英大文字、英小文字の選択などをします。
 (オルト)	他のキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときなどに使います。
 (コントロール)	
 (ウィン)	Windows のスタートメニューを表示するときに使います。また、他のキーと組み合わせて、ショートカットとして使うこともできます。
 (スペース)	空白文字を入力するときに使います。
 (アプリケーション)	マウスの右ボタンおよびコントロールボタンの下ボタンをクリックすることと同様の動作を行いたいときに使います。
 (エフエヌ)	オーバーレイキーを使用するときに使用します。
 (インサート)	文字の入力モードを挿入／上書きに切り替えるときに使います。
 (デリート)	文字を削除するときなどに使います。
 (矢印)	カーソル移動などに使います。
 (エンター)	作業を実行するときなどに使います。
 ~  (ファンクション)	特定の操作を実行するときなどに使います。

上の表の各内容は、お使いの日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。

● 入力に関する制御キー

キー入力で、よく使う制御キーは次のものがあります。

キー	内容
 98 [Ctrl] + [CapsLock 英数]	カナロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キートップ右中に印刷されたひらがなを、カタカナで入力できます。
 2000 [Ctrl] + [Shift] + [カタカナひらがな]	
[Shift] + [CapsLock 英数]	大文字ロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キートップ左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。

カナロックや大文字ロック状態を解除するには、もう一度同じキー操作をします。

ロック状態の優先度は、カナロック状態>大文字ロック状態です。

● [Fn] キーを使った特殊機能キー

[Fn] + [F1] 《インスタントセキュリティ機能》	キーボードをロックし、画面を消します。 ロックを解除するには、次のように操作します。 パスワードを設定している場合： パスワードを入力し、[Enter] キーを押す パスワードを設定していない場合： [Enter] キーまたは [F1] キーを押す パスワードは、「東芝 HW セットアップ」で設定します。  「5 章 2 東芝 HW セットアップ」
[Fn] + [F2] 《省電力モードの設定》	「東芝省電力ユーティリティ」の省電力モードを切り替えます。
[Fn] + [F3] 《電源 ON / OFF 時に使用する機能の選択》	シャットダウン、スタンバイなどの電源を切る状態を切り替えます。電源スイッチを押すと選択した状態で電源が切れます。

<p>[Fn] + [F4] 《アラーム音量の調節》</p>	<p>[Fn] キーを押したまま、[F4] キーを押すたびにアラーム音量が切り替わります。 ▶オフ→小→中→大▶</p>
<p>[Fn] + [F5] 《表示装置の切り替え》</p>	<p>[Fn] キーを押したまま、[F5] キーを押すたびに現在の順序から、次の順で表示が切り替わります。 ▶内部→同時→外部▶</p> <p>画面のプロパティでも切り替えることができます。表示装置の設定は東芝 HW セットアップの [Display] タブで行います。 ☞ [4章 7 CRT ディスプレイを接続する]</p>
<p>[Fn]+[F10] (アロー状態) 《オーバーレイ機能》</p>	<p>キートップ左下に灰色で印刷された、カーソル制御キーとして使用できます。 アロー状態を解除するには、もう1度 [Fn]+[F10] キーを押します。</p>
<p>[Fn]+[F11] (数字ロック状態) 《オーバーレイ機能》</p>	<p>キートップ右下に灰色で印刷された、数字などの文字を入力できます。 数字ロック状態を解除するには、もう1度 [Fn]+[F11] キーを押します。</p>
<p>[Fn]+[F12] (スクロールロック状態)</p>	<p>一部のアプリケーションで     キーを画面スクロールとして使用できます。 スクロールロック状態を解除するには、もう1度 [Fn]+[F12] キーを押します。</p>
<p>[Fn] +    </p>	<p>キートップ右下に灰色で印刷された、[Home]、[End]、[PgUp]、[PgDn] キーとして使用できます。</p>

キーを使ったショートカットキー

キーと他のキーとの組み合わせにより、次のようにショートカットとして使用できます。

キー	操作
+ [R]	[ファイル名を指定して実行] 画面を表示する
+ [M]	すべてをアイコン化する
[Shift] + + [M]	すべてのアイコン化を元に戻す
+ [F1]	Windows のヘルプを起動する
+ [E]	Windows エクスプローラを起動する [マイコンピュータ] 画面を表示する
+ [F]	ファイルまたはフォルダを検索する
[Ctrl] + + [F]	他のコンピュータを検索する
+ [Tab]	タスクバーのボタンを順番に切り替える
+ [Break]	[システムのプロパティ] 画面を表示する

特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

特殊機能	キー	内 容
システムの再起動	[Ctrl] + [Alt] + [Del]	98 プログラムの強制終了画面が表示されます。再度同じキーを押すと、システムを再起動します。 2000 Windows のセキュリティ画面が表示されます。
画面印字	[Fn] + [Ins]	現在表示中の全体画面をクリップボードにコピーします。
	[Alt] + [Fn] + [Del]	現在実行中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。



お願ひ

・ Windows 98 の場合、システムが操作不能になったとき以外は [Ctrl] + [Alt] + [Del] キーは使用しないでください。データが消失するおそれがあります。

● 日本語入力システム

本製品には、Microsoft 社製の日本語入力システム MS-IME が標準装備されています。

MS-IME のバージョンはお使いになるシステムによって異なります。

- **98** : MS-IME98
- **2000** : MS-IME2000

● 日本語入力システムの起動

漢字変換が行えるように日本語入力システム MS-IME を起動するには、次の方法があります。

- **[Alt]+[半/全]** キーを押す



— ここをクリックし、メニューから「ひらがな」を選択する

- **98** タスクバーの  をクリックし、「日本語入力-オン」を選択する

漢字変換が行えるようになると、ツールバーは次のようになります。



● 入力モード

ローマ字入力が既定値になっています。かな入力に設定を変更する場合は、ツールバーのプロパティアイコン () をクリックしてください。



・ローマ字入力とかな入力の切り替えは、次のキーの組み合わせでも可能です。

 **98** : [Alt] + [カタカナひらがな]

 **2000** : [Ctrl] + [Shift] + [カタカナひらがな]

● 漢字変換

入力した文字を漢字変換するには、[Space]キーを押します。

目的の漢字ではない場合は、もう一度 [Space]キーを押して、他の漢字を表示します。さらに [Space]キーを押すと、候補の一覧が表示されます。

  キーで選択し、[Enter]キーを押します。

 MS-IME の使いかた ⇄ 『MS-IME のオンラインヘルプ』



・MS-IME のオンラインヘルプを見るには、ツールバーのヘルプアイコン () をクリックし、メニューから [目次とキーワード] をクリックします。

7 サウンド

本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。

1 スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。サウンド機能は Microsoft Windows Sound System、および Sound Blaster Pro に適合しています。

サウンドに関する設定についてはあわせて『Windows のヘルプ』をご覧ください。

● ボリュームダイヤルで調整する

本体前面のボリュームダイヤルで調整します。

音量を大きくしたいときには右に、小さくしたいときは左に回します。

🔊 ボリュームダイヤル ⇨ 「1 章 1 各部の名称」

● [音量] アイコンから調整する

タスクバーの [音量] アイコン (🔊) からスピーカの音量を調整することもできます。

- 1 タスクバー上の [音量] アイコン (🔊) をクリックする
次の画面が表示されます。



2 つまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。



- ・ [ミュート] をチェックすると消音となります。
- ・ 使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。
 - ・ 本製品のボリュームダイヤルで音量を調整する
 - ・ 使用しているアプリケーションの設定を変える
 - ・ 外部マイクをスピーカから離す

● ボリュームコントロールで調整する

1 タスクバー上の [音量] アイコン () をダブルクリックする

または

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [エンターテイメント] - [ボリュームコントロール] をクリックする

ボリュームコントロールが起動します。

2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。 [ミュート] をチェックすると消音となります。

詳しくは、ボリュームコントロールのヘルプをご覧ください。

② システムスピーカについて

パソコンのハードウェアの状態を知らせるシステムスピーカがあります。システムスピーカを鳴らす／鳴らさないを設定できます。ご購入時は鳴らす設定になっています。また、音量の調整もできます。

● 設定方法

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [東芝 HW セットアップ] をダブルクリックする
- 3 [Hardware Alarm] タブで設定する

鳴らす場合は [System Beep] をチェックします。

音量は [Alarm Volume] のスライダーバーで調整します。



メモ

・システムスピーカの音量の調整は、**[Fn] + [F4]**キーを使用して変更することもできます。

☞ 「本章 6-**[Fn]**キーを使った特殊機能キー」

2

電源を入れて切るまで

電源を入れて、パソコンがシステムを組み込むまでを、
「パソコンの起動」といいます。

本章では、パソコンの起動と電源を切って終了する方法について説明します。

1	電源を入れる	46
2	初めて電源を入れるとき	48
3	電源を切る	66
4	オンラインマニュアルの起動	77

1 電源を入れる

1 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる
フロッピーディスクドライブを接続している場合は、フロッピーディスクが入っていないことを確認してください。

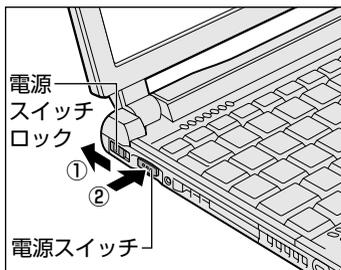
2 ディスプレイを開く

パソコンの設定によっては、ディスプレイを開くと自動的に電源を入れることができます。その場合は手順3の操作は不要です。

3 電源スイッチロックを解除 (🔓)

し①、電源スイッチを押す②

電源が入ると、Power  LED が緑色に点灯します。



Windows 98の場合は、初めて電源を入れたとき、[Windows セットアップの確認] の画面が表示されます。Windows 2000の場合は、[Windows 2000 セットアップウィザードの開始] 画面が表示されます。表示されるメッセージに従って、Windows のセットアップを行なってください。

☞ セットアップの方法について ⇨ 「本章 2 初めて電源を入れるとき」

スタンバイまたは休止状態が設定されている場合は、電源を切る前の状態が再現されます。

これらの機能を実行しない場合には、Windows の起動画面が表示されます。



メモ

- ・スタンバイ、休止状態とは、次に電源を入れたとき、終了した時点から作業が行える機能です。スタンバイは電源を切る前の状態をメモリに保持し、休止状態はハードディスクに保持します。
- ・スタンバイを実行して電源を切ると Power  LED がゆっくりとオレンジ色に点滅します。

4 電源スイッチロックを有効 (🔒) にする

誤操作を防ぐために、電源スイッチをロックしておいてください。

● パスワードが設定されている場合

パスワードを設定している場合は、電源を入れると次のメッセージが表示されます。

Password =

設定したパスワードを入力し、**[Enter]**キーを押してください。



メモ

- ・スタンバイまたは休止状態を実行している場合は、電源を入れた直後に表示されます。
- ・パスワードの入力ミスで3回繰り返した場合は自動的に電源が切れます。スタンバイまたは休止状態を実行している場合は、設定した状態に戻ります。

● 次のメッセージが表示される場合

主なメッセージとその対処方法を示します。

(1) Bad ×××× ××××

この場合は、**[F1]**キーを押してセットアップ画面を表示させます。

[Fn]+[←]キーを押して標準に設定してください。その後、**[Fn]+[→]**キーを押して終了し、**[Y]**キーを押して再起動してください。標準設定の状態になります。

(2) WARNING:×××××

この場合は、**[Enter]**キーを何回か押してください。

(3) WARNING:RESUME FAILURE
PRESS ANY KEY TO CONTINUE

スタンバイ機能によるシステム起動ができない、というメッセージです。電源を切る前の状態は再現できません。

この場合は、どれかキーを押してください。

(4) WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE
PRESS ANY KEY TO CONTINUE.

98 休止状態によるシステム起動ができないというメッセージです。電源を切る前の状態は再現できません。
この場合は、どれかキーを押してください。

2 初めて電源を入れるとき

パソコン本体の電源を初めて入れるときは、Windows を使えるようにするために、「Windows セットアップ」という操作が必要です。1度 Windows のセットアップをすれば、以降は電源を入れるとすぐに Windows を使用することができます。

本製品には、Windows 98 モデルと Windows 2000 モデルがあります。セットアップの方法については、お使いになるシステムの手順をご覧ください。



お願い

- ・「Windows セットアップ」は AC アダプタと電源コードを接続し、コンセントにつないで行なってください。
 - 電源の接続方法について ⇨ 「1章 3-1 電源に接続する」
- ・「Windows セットアップ」を行わないと、あらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを使用することはできません。
- ・「Windows セットアップ」の動作中は、電源を切らないでください。



メモ

- ・「Windows セットアップ」を行う前に、30 分以上キーを押さない（アキュポイント II の操作も含む）場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。画面に表示するには、[Shift] キーを押すか、アキュポイント II やマウスを動かしてください。
- ・Windows のセットアップは、カスタム・リカバリ CD ( 98) やリカバリ CD ( 2000) でシステムの復元を行なった場合にも必要です。



注意

- ・ご購入時のネットワークの設定は既定値になっています。Windows のセットアップ時に LAN ケーブルを接続していると、ネットワークの設定が既定値のままネットワークに接続してしまう、ネットワークに障害をもたらす場合があります。必ず、LAN ケーブルをはずした状態でセットアップを行なってください。

1 Windows 98のセットアップ

Windows 98 セットアップでは、次のことを行います。

- ユーザー情報の登録
名前とふりがな（省略可能）を登録します。
- マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）
マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows を使用することはできません。
- 日付と時刻の設定
[日付と時刻のプロパティ] 画面の [日付と時刻] タブにて、パソコンの日付と時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。

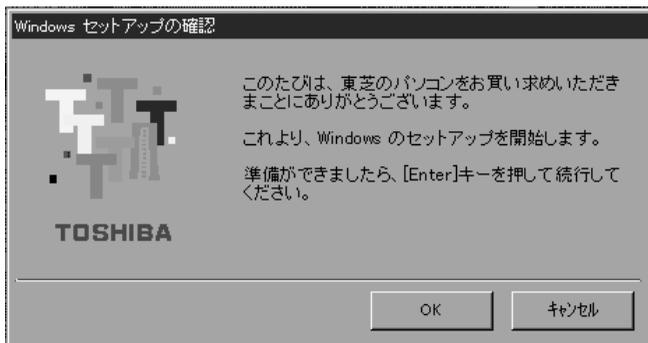


お願い

・Product Key がパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは絶対になくさないでください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

● セットアップの操作手順

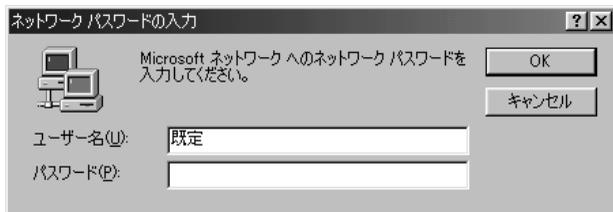
初めて電源を入れると、[Windows セットアップの確認] 画面が表示されます。



1 [Enter]キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。

コンピュータが再起動し、[ネットワークパスワードの入力] 画面が表示されます。



2 ユーザー名を入力する

[Shift]+[Tab]キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

[Del] キーを押して「既定」を削除します。

ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。

ひらがなや漢字を入力するには、MS-IME を起動します。MS-IME とは、かなや漢字を入力するための日本語入力システムです。[Alt] キーを押したまま、[半/全] キーを押してください。



・ ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた” または “中田” と入力する場合

① **[N][A][K][A][T][A]** とキーを押す

“なかた” と表示されます。入力ミスをした場合は、

[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。

② ひらがなそのままではよい場合は、**[Enter]** キーを押す

“なかた” で確定されます。

漢字変換する場合は **[Space]** キーを押し、目的の漢字が表示されたら、**[Enter]** キーを押す

[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。

[Enter] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

3 パスワードを入力する

ユーザー名の入力が終わった後、[Tab] キーを押します。

パスワードに半角英数字および記号が使用できます。4～8文字を目安に設定してください。

入力したパスワードは「****」で表示されます。

パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

[Windows パスワードの設定] 画面が表示されます。



4 登録したパスワードをもう一度入力し、[OK] ボタンをクリックする

[ようこそ] 画面が表示されます。



入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう一度入力し直してください。



・登録したパスワードを正しく入力できない場合

- ① **[Del]** キーで [新しいパスワードの確認入力] のパスワードをすべて削除する
- ② **[Shift]** キーと **[Tab]** キーを同時に押す
カーソルが新しいパスワードの入力に戻ります。
- ③ **[Del]** キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
- ④ 新しいパスワードを入力する
- ⑤ **[Tab]** キーを押す
- ⑥ [新しいパスワードの確認入力] に同じパスワードを入力する
- ⑦ **[OK]** ボタンをクリックする

5 **[Esc]** キーを押す

MS-IME のチュートリアルに進み、入力の練習を行う場合は **[M]** キーを押してください。入力の練習を行わなかった場合、または練習が終了したあとに、[Windows 98 へようこそ] 画面が表示されます。



6 名前とふりがなを入力する

名前は必ず入力してください。ふりがなは省略できます。ふりがなを入力するには、名前を入力したあと、**[Tab]** キーを押します。

ひらがなや漢字を入力するには、MS-IME を起動します。**[Alt]** キーを押したまま、**[半/全]** キーを押してください。

7 [次へ] ボタンをクリックする

[Windows ユーザー使用許諾契約] の画面が表示されます。

契約内容を、必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか、[PgUp] キー、[PgDn] キーを使って画面を動かしてください。

なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



8 画面の [同意する] をチェック (左側の○印をクリック) して、[次へ] ボタンをクリックする

[セットアップの完了] 画面が表示されます。



9 [完了] ボタンをクリックする

[日付と時刻のプロパティ] 画面が表示されます。



10 [日付] と [時刻] が正しく設定されているか確認する

正しく設定されていない場合は設定してください。設定後、[適用] ボタンをクリックすると、日付および時刻の設定が確定され、パソコンの時計が動作します。

11 [タイムゾーン] で「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていることを確認する

「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていない場合は▼ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

12 [閉じる] ボタンをクリックする

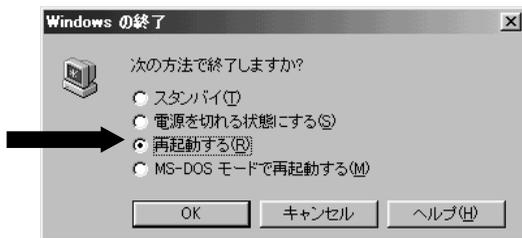
[日付]、[時刻]、[タイムゾーン] を変更した場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

Windows のセットアップが終了します。セットアップ終了後、手動で再起動してください。

13 [スタート] ① - [Windows の終了] ②を選択する



[Windows の終了] 画面が表示されます。



14 [再起動する] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする



メモ

- ・ 東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。
 ☞ ユーザ登録 ⇨ 「本節 3 ユーザ登録をする」



お願い

- ・ 再セットアップを行うときには、CD のドライブ (別売り) が必要です。本製品では次の CD ドライブが使用できます。
 - ・ CD-ROM ドライブ (PA2671UJ または PA2673UJ)
 - ・ CD-R/RW ドライブ (PACDR002)
 - ・ マルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブ
 上記以外のドライブをお使いになる場合には「標準システムインストール起動ディスク」が必要です。あらかじめ作成しておくことをおすすめします。
- ☞ 詳細について
 ⇨ 「6章 5 標準システムインストール起動ディスクを使う」

● Windows の使いかた

Windows の使いかたについては、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 98 SECOND EDITION』をご覧ください。

2 Windows 2000 のセットアップ

セットアップでは、次のことを行います。

- マイクロソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）への同意
マイクロソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みにになり、契約内容に同意するかどうかを、選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows を使用することはできません。
- ユーザ情報の登録
名前と会社名または組織名（省略可能）を登録します。
- コンピュータ名の指定
- 日付と時刻の設定
- ネットワークの設定



お願い

・プロダクトキーがパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

● セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行なってください。



お願い

・初めて電源を入れると、セットアップイメージが正しいかを確認するために、「CHKDSK」が実行されます。ファイルシステムの異常が検出されたわけではありませんので、問題なくご使用いただけます。

初めて電源を入れると、[Windows 2000 セットアップウィザードの開始] 画面が表示されます。

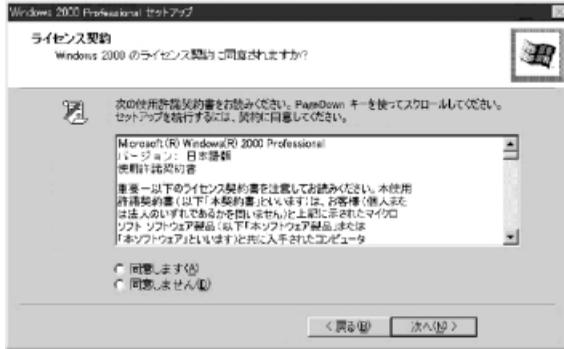


1 [次へ] ボタンをクリックする

[ライセンス契約] の画面が表示されます。

契約内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか [PgUp] キー、[PgDn] キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



2 画面下部の [同意します] をチェックして [次へ] ボタンをクリックする

[ソフトウェアの個人用設定] の画面が表示されます。



3 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。会社名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 **[Tab]** キーを押します。



メモ

・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

① **[N][A][K][A][T][A]** とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、

[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。

② ひらがなのままでよい場合は、**[Enter]** キーを押す

“なかた”で確定されます。

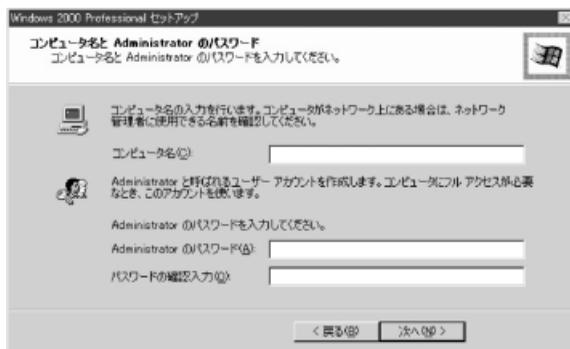
漢字変換する場合は **[Space]** キーを押し、目的の漢字が表示されたら、**[Enter]** キーを押す

[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。

[Enter] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

4 [次へ] ボタンをクリックする

[コンピュータ名と Administrator のパスワード] 画面が表示されます。



5 コンピュータ名と Administrator のパスワードを入力する

コンピュータ名の付けかたに関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Administrator と呼ばれるユーザ名を作成します。コンピュータにフルアクセスする場合に使用します。



お願い

・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

6 [次へ] ボタンをクリックする

[日付と時刻の設定] 画面が表示されます。



7 日付と時刻の設定をする

日付と時刻を確認します。

タイムゾーンで「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていることを確認します。

▼ボタンをクリックして適切な時刻/タイムゾーンを設定してください。

8 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワークの設定] 画面が表示されます。



9 ネットワークの設定をする

ネットワークの設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。
標準設定またはカスタム設定のどちらかを選択してください。



メモ

・ **標準設定**：Microsoft ネットワーククライアント、Microsoft ネットワーク のファイルとプリンタの共有サービス、アドレスを自動的に指定する TCP/IP トランスポートプロトコルを使ってネットワーク接続を作成します。

・ **カスタム設定**：手動でネットワークコンポーネントを構成することができます。



お願い

・ お使いのネットワーク環境によって設定が異なりますので、ネットワークの設定は必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

10 [次へ] ボタンをクリックする

[ワークグループまたはドメイン名] 画面が表示されます。

11 ワークグループまたはドメイン名の設定をする

ワークグループまたはドメインのどちらかを選択してください。選択後、エディットボックスにワークグループ（ドメイン）名を入力してください。



お願い

・ お使いのネットワーク環境によって設定、およびワークグループ（ドメイン）名が異なります。必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

12 [次へ] ボタンをクリックする

設定の保存後、[Windows 2000 セットアップウィザードの完了] 画面が表示されます。



13 [完了] ボタンをクリックする

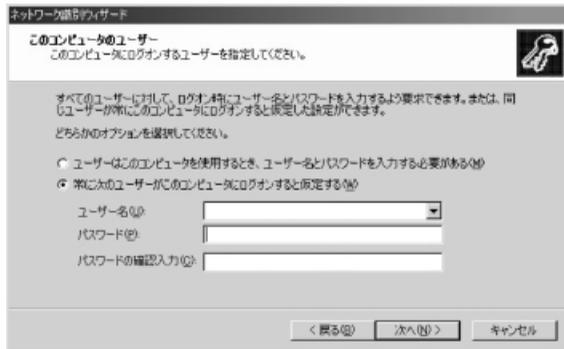
再起動します。再起動後に [ネットワーク識別ウィザードの開始] 画面が表示されます。

ここで、コンピュータをネットワークに接続する手続きをします。



14 [次へ] ボタンをクリックする

[このコンピュータのユーザー] 画面が表示されます。



15 ユーザの設定をする

このコンピュータで使用するユーザを指定します。

- 「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」

..... 指定したユーザでパスワードを入力してからログオンします。

- 「常に次のユーザーがコンピュータにログオンすると仮定する」

..... 指定したユーザで自動的にログオンします。

ここで指定できるユーザは手順3で入力した名前、あるいは Administrator です。

▼ボタンをクリックして選択してください。

16 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワーク識別ウィザードの終了] 画面が表示されます。



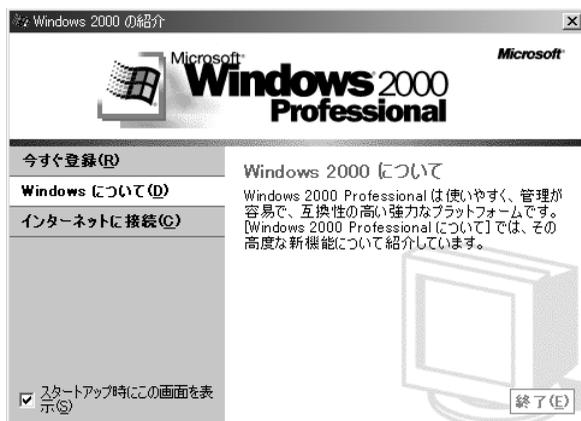
17 [完了] ボタンをクリックする

Windows 2000 のセットアップを完了しました。

手順 15 で前者を選択した場合は、[Windows へログイン] 画面が表示されますので、Administrator のパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックしてください。Administrator でログインします。

後者を選択した場合は、手順 15 で指定したユーザで自動的にログインします。

ログイン後、[Windows 2000 の紹介] 画面が表示されます。





メモ

- ・ [Windows 2000 の紹介] の下部にある [スタートアップ時にこの画面を表示] のチェックを解除すると、次に Windows が起動したときはこの画面は表示されません。

ダイアログボックスを再表示する方法

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [はじめに] をクリックする

- ・ 次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。

C ドライブ : NTFS システム

- ・ 東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。

☞ ユーザ登録 ☞ 「本節 3 ユーザ登録をする」



お願い

- ・ 再セットアップを行うときには、CD のドライブ (別売り) が必要です。本製品では次の CD ドライブが使用できます。

・ CD-ROM ドライブ (PA2671UJ または PA2673UJ)

・ CD-R/RW ドライブ (PACDR002)

・ マルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブ

上記以外のドライブをお使いになる場合には「標準システムインストール起動ディスク」が必要です。あらかじめ作成しておくことをおすすめします。

☞ 詳細について

☞ 「6章 5 標準システムインストール起動ディスクを使う」

● Windows の使いかた

Windows の使いかたについては、[スタート] - [ヘルプ] をクリックして、『Windows のヘルプ』をご覧ください。

3 ユーザ登録をする

東芝へのユーザ登録および Microsoft 社へのユーザ登録は必ず行なってください。登録はそれぞれ行う必要があります。登録を行わないと、今後のサポートを受けられない場合があります。
LAN を経由してインターネットで登録するときはネットワーク管理者にご相談ください。または、モデムが必要です。

● 東芝へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

「東芝 PC お客様登録」を使う (Windows 98)

Windows 98 の場合、インターネットでユーザ登録をするための「東芝 PC お客様登録」を使用できます。

[スタート] - [プログラム] - [東芝 PC お客様登録] - [東芝 PC お客様登録] をクリックし、表示される画面に従って設定を行なってください。お使いの状況に従って、次の3つから選択してください。

- [インターネットプロバイダと未契約の方] :
インターネットプロバイダ「infoPepper」に入会することになります。接続した時間などに応じて、料金がかかりますので、あらかじめご了承ください。この方法を選択する場合は、モデムが必要です。
- [インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくは LAN 経由でインターネット接続されている方] :
インターネットに接続してユーザ登録できます。
- [インターネット経由での登録を希望しない方] :
はがきでユーザ登録するメッセージが表示されます。

東芝ホームページから登録する

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行なってください。

<http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm>

● Microsoft 社へのユーザ登録

同梱されている登録はがきで登録できます。
また、インターネットでも登録できます。

インターネットで登録する

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のように登録します。

● Windows 98 の場合

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] -
[Windows へようこそ] で [今すぐ登録] をクリックする

● Windows 2000 の場合

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [はじめに] で [今すぐ登録] をクリックする

3 電源を切る

パソコン本体を使い終わって電源を切るには、次の方法があります。
電源を切るときに、次の機能が実行できます。

- ・シャットダウン（電源オフ）
- ・スタンバイ
- ・休止状態

● シャットダウン（電源オフ）

Windowsを終了して、パソコン本体の電源を切ります。

● スタンバイ

電源を切る直前の状態をメモリに保持する機能です。
次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。
休止状態に比べて、状態の再現がすばやく行われます。
しかし、休止状態実行時よりもバッテリーを消耗しますので、ACアダプタを取り付けてお使いになることをおすすめします。



- ・スタンバイを実行中にバッテリーを使い切ったとき、またはバッテリーパックを取りはずしたときは、スタンバイが無効になります。また、データが消失するおそれがあります。

● 休止状態

電源を切る直前の状態をハードディスクに保存する機能です。
スタンバイと同様に、次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。
休止状態を実行するには、あらかじめ設定が必要です。ご購入時は有効に設定されています。

- ☞ シャットダウン（電源オフ）、スタンバイ、休止状態
⇒ 「5章 1 消費電力を節約する」

これらの機能を実行して電源を切るには、いくつかの方法があります。



注意

- ・ 休止状態を実行すると、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、Disk  LED が点灯し続けます。Disk  LED、および Power  LED 点灯中は、パソコン本体の持ち運びをしないでください。ハードディスクドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ Disk  LED、またはフロッピーディスクドライブのLED が点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブのイジェクトボタンを押したりしないでください。データが消失するおそれや、ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐには入れないでください。十分に放電するまでしばらく待ってください。



お願い

- ・ 必ず手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと、故障の原因となることがあります。
- ・ 周辺機器の電源は、パソコンの電源を切った後に切ってください。
- ・ 休止状態を実行すると、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、Disk  LED が点灯し続けます。LED が点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。
- ・ スタンバイ、休止状態を設定していない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。

1 Windows 98 の場合

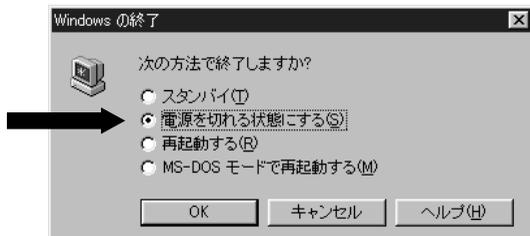
● 方法 1 - シャットダウン

[スタート] メニューから Windows を終了します。

- 1 データを保存し、アプリケーションを終了する
- 2 [スタート] ① - [Windows の終了] ②を選択する



- 3 [電源を切れる状態にする] がチェックされていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする



・この方法で電源を切るとスタンバイや休止状態は実行されません。

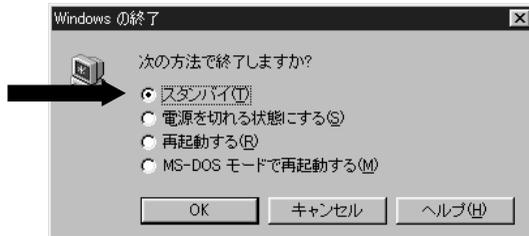
● 方法2 - スタンバイ

[スタート] メニューからスタンバイを実行します。

1 [スタート] ① - [Windows の終了] ②を選択する



2 [スタンバイ] を選択し、[OK] ボタンをクリックする スタンバイを実行して終了します。



メモ

・スタンバイを実行すると、休止状態実行時よりバッテリーの保持時間は非常に短くなります。バッテリー駆動で使用する場合は、休止状態を使用することをおすすめします。

● 方法3 - 休止状態

[スタート] メニューから休止状態を実行します。
あらかじめ [コントロールパネル] - [東芝省電力] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックして、休止状態を有効にしておきます。

1 [スタート] ① - [休止状態] ②を選択する

休止状態を実行して終了します。

[スタート] メニューの項目はあらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。



● 方法4 - 電源スイッチを押す

シャットダウン／スタンバイ／休止状態を実行できます。
あらかじめ、東芝省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 電源スイッチを押したときに実行したい処理（機能）を選択する

[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [電源設定] タブ - 利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリック - [動作] タブ - [電源ボタンを押したとき] で、表示されるメニューから実行したい処理（機能）を選択します。

☞ 省電力モードについて ☞ [5章 1 消費電力を節約する]



・休止状態を使用するには、[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

2 電源スイッチを押す

● 方法5 - ディスプレイを閉じる（パネルスイッチ機能）

シャットダウン／スタンバイ／休止状態を実行できます。
あらかじめ、東芝省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 ディスプレイを閉じたときに実行したい処理（機能）を選択する

[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [電源設定] タブ - 利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリック - [動作] タブ - [コンピュータを閉じたとき] で、表示されるメニューから実行したい処理（機能）を選択します。

☞ 省電力モードについて ☞ [5章 1 消費電力を節約する]

スタンバイまたは休止状態に設定した場合、ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、ディスプレイを閉じる直前の状態を再現します。



・休止状態を使用するには、[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

2 ディスプレイを閉じる

● 方法6 - [Fn] + [F3] キーを使う

シャットダウン／スタンバイ／休止状態を実行できます。
休止状態を実行するには、設定が必要です。

1 [Fn] キーを押しながら、[F3] キーを押す

画面が表示されます。

2 [Fn] キーを押したまま、[F3] キーを押し、実行したい処理（機能）を選択する

[F3] キーを押すたびに、処理（機能）が切り替わります。
東芝省電力からも設定できます。

☞ 省電力モードの設定 ⇨ 「5章 1 消費電力を節約する」



・ 休止状態を使用するには、[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

3 電源スイッチを押す

● こんなときは

誤って休止状態を実行してしまった場合、[BackSpace] キーでキャンセルすることができます。

休止状態を実行すると、1度画面が暗くなってから次の画面が表示されます。



画面が表示される前に [BackSpace] キーを押すと、1度画面が暗くなってから、元の画面に戻ります。

画面が表示中に [BackSpace] キーを押すと、休止状態は中断され、元の画面に戻ります。

2 Windows 2000 の場合

● 方法1 - シャットダウン

[スタート] メニューから Windows を終了します。

- 1 データを保存し、アプリケーションを保存する
- 2 [スタート] - [シャットダウン] をクリックする
- 3 ▼ボタンをクリックして [シャットダウン] を選択し、
[OK] ボタンをクリックする



・この方法で電源を切るとスタンバイや休止状態は実行されません。

● 方法2 - スタンバイ

[スタート] メニューからスタンバイを実行します。

- 1 [スタート] - [シャットダウン] をクリックする
- 2 ▼ボタンをクリックして [スタンバイ] を選択し、[OK] ボタンをクリックする



メモ

・スタンバイを実行すると、休止状態実行時よりバッテリーの保持時間は非常に短くなります。バッテリー駆動で使用する場合は、休止状態を使用することをおすすめします。

● 方法3 - 休止状態

[スタート] メニューから休止状態を実行します。

あらかじめ [コントロールパネル] - [東芝省電力] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックして、休止状態を有効にしておきます。

- 1 [スタート] - [シャットダウン] をクリックする

2 ▼ボタンをクリックして [休止状態] を選択し、[OK] ボタンをクリックする



休止状態を実行して終了します。

● 方法 4 - 電源スイッチを押す

シャットダウン、スタンバイ、休止状態を実行できます。
あらかじめ、東芝省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 電源スイッチを押したときに実行したい処理（機能）を選択する

[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [電源設定] タブ - 利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリック - [動作] タブ - [電源ボタンを押したとき] で、表示されるメニューから実行したい処理*（機能）を選択します。

* [電源オフ] がシャットダウンです。

☞ 省電力モードについて ☞ 「5章 1 消費電力を節約する」



× M

・ 休止状態を使用するには、[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [休止状態] タブの [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

・ [Fn] + [F3] キーを使用しても、電源スイッチを押したときに実行したい処理を設定できます。

☞ 詳細について ☞ 「1章 6- [Fn] キーを使った特殊機能キー」

2 電源スイッチを押す

● 方法5 - ディ스플레이を閉じる (パネルスイッチ機能)

シャットダウン、スタンバイ、休止状態を実行できます。
あらかじめ、東芝省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 ディ스플레이を閉じたときに実行したい処理 (機能) を選択する

[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [電源設定] タブ - 利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリック - [動作] タブ - [コンピュータを閉じたとき] で、表示されるメニューから実行したい処理* (機能) を選択します。

* [電源オフ] がシャットダウンです。

☞ 省電力モードについて ☜ [5章 1 消費電力を節約する]

スタンバイまたは休止状態に設定した場合、ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、ディスプレイを閉じる直前の状態を再現します。



・ 休止状態を使用するには、[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

2 ディ스플레이を閉じる

4 オンラインマニュアルの起動

Windows が起動しているときに、取扱説明書（本書）をパソコン画面上で見ることができます。

● 起動方法

- 1 [スタート] ① - [オンラインマニュアル] をクリックする②
「Adobe Acrobat Reader」が起動します。



・デスクトップ上にある「オンラインマニュアル」アイコンをダブルクリックしても起動できます。

画面は Windows 98 の表示例です。



初めて「Adobe Acrobat Reader」を起動したときは、「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。契約内容をお読みのうえ、「同意する」ボタンをクリックしてください。「同意する」ボタンをクリックしないと、「Adobe Acrobat Reader」をご使用になれません。また、「オンラインマニュアル」を見ることはできません。

